



春の小川のエリアになまえが付きました。みなさんに愛されることを願っています。

つぼころの里

つぼころ…のおはなし

阿光坊の郷土史家の故成田健康氏は、その著書『阿光坊の史跡と伝説』の中で次のように述べています。「阿光坊北方原野(通称三本木平)の傾斜地に、つぼころの沢(つぼくる沢の意)と云って大きな穴から清水が渾々と湧き出している所がある。(中略)都母と「つぼ」の音が似ているので何等かの関係があったものであろうか。」

以上を手掛かりに、つぼころ沢の由来を考えてみると、昔(奈良時代の頃)、「つぼろ沢」の周辺は、水が豊富であり、たくさんの人々が暮らしていたと推定されます。(このことは現在でも大きな湧水があり、住居跡の遺跡があることから確認できます。)

昔、当地から北西に当たる方向に「都母(つも)」と呼ばれる村がありました。現在の七戸町(旧天間林村)の坪(つぼ)がその中心的な場所とされています。そこに住む人々が交易のためか、あるいは対抗関係にあったからか、とにかく何らかの目的があつて当地にやって来ました。このことが後世に伝わって「つぼ」が「来る」沢→「つぼくる沢」→「つぼころ沢」と呼ばれるようになったと考えられます。

念願の看板が設置されます

春の小川の存在を知らせる「看板」が完成しました。
みなさんが、自由に足を運び水辺や東屋、野花を楽しめるよう整備していく予定となっております。
まだまだ、草に追い越されている現状ですが、少しずつですが整備を進めていければと思っています。乞うご期待を！
会員のみなさんも、是非楽しみにしていただければと思います。

「つぼころっくる」です！

この紙面の上の方にいる僕は、つぼころの里のキャラクター「つぼころっくる」です。
春の小川のエリアで、一緒に遊びましょう♪
みなさんに愛される存在でありますように…と願っています。
どうぞ、よろしくお願いします。



大きな、大きな春の小川を象徴する看板です。東屋の隣に設置予定です。



案内看板です。カワヨ入口春の小川入口の2カ所に設置予定です。